

平成28年度 自然観察会 実施報告 HP用

四日市自然保護推進委員会

回数	第7回	参加者数	55名 参加団体（なし）	
テーマ	いろいろドングリ			
実施日	平成28年10月16日	天候	晴れ	
場所	南部丘陵公園			
コース	開会時刻（10:00）南ゾーン小動物園前 [一般コース] 南ゾーン小動物園前→北ゾーン→ アメダス前（解散11:50） [バリアフリーコース] 南ゾーン小動物園前→ピクニック広場→南ゾーン新駐車場 （解散11:10）			
観察会の概要 すっかり秋らしくなり、天気も良く観察日和となりました。市内ではいろいろな行事が催される日でしたが、大勢の参加者がありました。バリアフリーコースと一般コースの2コースで観察を行いました。どちらのコースも、就学前の小さなお子さんが多く参加してくれました。 今年はドングリが不作の年であるのに加え、公園内の清掃が行き届いていて、ドングリが例年のようにひろえませんでした。また、ひつつきむし（刺などで動物にくっついて移動する種子をつくる植物）もほとんどありませんでした。 公園内はイノシシの掘り起こしがあちらこちらに見られ、電柵、スズメバチ、ウルシ類に注意などの立て札があったため、参加者に注意を促しながら観察しました。				
参加者の感想・声など（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・ドングリの種類や見分け方が詳しく教えていただけて楽しかった。小学生の息子は、食べられるドングリに夢中でした。 ・小さいお子さんが多数参加されていて、楽しく興味深い観察会でした。 ・説明がとてもわかりやすく、勉強になりました。 ・子供はまだ理解できない年ですが、知らないうちから自然に触れ合う体験をさせたくて参加しました。皆さんがやさしく見守ってくださって助かりました。 ・日ごろから気になっていたドングリの違いを勉強できました。鳥、虫、草も興味があったので、とても参考になりました。 				

<p>観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）</p> <p>観察物の花期、出現期などの状況</p>	
植物	<p>・五感（嗅覚・味覚・視覚・聴覚・触覚）を使って自然と触れ合うことの大切さを伝えた。</p> <p>ウバメガシ、シラカシ、マテバシイ、コナラ、アベマキ、アラカシ、スダジイ、クリ、クヌギ、ナラガシワ、ツブラジイ、チヂミザサ、コセンダングサ、クスノキ、サンゴジュ、トウネズミモチ、カンツバキ、カクレミノ、コブシ、サルスベリ、モミジバフウ、ヒノキ、ツリガネニンジン、メタセコイヤ、アレチヌスビトハギ</p>
昆虫 など	<p>・これまでいた生物が、いなくなったときは気づかないことが多い。身の回りの変化に気を配って観察してほしい。</p> <p>ツユムシ、ウラギンシジミ、ヤマトシジミ、アキアカネ、キタキチョウ、ハナムグリ、ツマグロヒョウモン、エンマコオロギ、ハラビロカマキリ、ルリタテハ、コバネイナゴ、ウスバキトンボ、オオスズメバチ、アカタテハ、ツバメシジミ、オオカマキリ、コカマキリ、ハイイロチョッキリ</p>
野鳥	<p>ヒヨドリ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、ハシボソガラス、カワセミ（糞）、スズメ、ハクセキレイ、ウグイス、ムクドリ、キジバト、モズ、セグロセキレイ、ハシブトガラス、シジュウカラ、コゲラ</p>
クモ類	<p>ジョロウグモ</p>
その他	<p>イセノナミマイマイ、ニホンカナヘビ、菌輪</p>